

# パイネ#51-82E

1. 系統 二液性イソシアネート硬化型エポキシ樹脂系特殊膨潤炭塗料(特化則の対象物質を非含有)
2. 特徴
- 1) 従来のコールタール系と異なる「環境対応型塗料」。
  - 2) 低温硬化タイプで、厚塗りが可能。厚塗りしても硬化は遅れない。
  - 3) 密着性が良好で、可とう性を保持し、耐衝撃性に優れる。
  - 4) 耐水性・耐海水性・耐薬品性・防食性に優れる。
3. 用途
- 1) 海水中・淡水中・土中の鋼構造物の防食塗装用。
  - 2) 水圧鉄管・タンク・槽類の内外面防食塗装用。

## 4. 塗料性状

項目	内容				
容 姿	2液性				
荷 姿	20kg セット、4kg セット				
色 相	黒色(標準色)、錆色				
光 沢	つや消し				
密度 (23℃)	塗 料	1.32 (主剤・硬化剤混合物の標準)			
	揮発分	0.87			
加 熱 残 分	72wt%				
乾燥時間	温 度	0℃	5℃	10℃	20℃
	指 触	1時間	50分	40分	30分
	硬 化*	24時間	18時間	14時間	8時間
標 準 膜 厚	150μm				
引 火 点	SDS参照				
発 火 点	SDS参照				
爆発限界(下限~上限)	SDS参照				
貯蔵安定期間(20℃)	12ヶ月				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

\*硬化乾燥時間は、歩行及び膜厚測定が可能となる目安の時間を示す。

## 5. 塗装基準

項目	内容				
下 地 処 理	ISO-St3 (SSPC-SP3) 以上				
調 合 法	主剤：85部、硬化剤：15部 (重量比)				
熟 成 時 間	約30分 (20℃)				
可 使 時 間	0℃	5℃	10℃	20℃	
	6時間	5時間	3時間	2時間	
塗 装 方 法	エアレス塗装、(刷毛塗り)				
使用シンナー	パイネ#5100溶剤				
塗 装 方 法	塗 装 方 法	エアレス塗装		刷毛塗り	
	希 釈 率	0~10wt%		0~10wt%	
	標 準 使 用 量	0.54kg/m <sup>2</sup>		0.16kg/m <sup>2</sup>	
	標 準 膜 厚	150μm		60μm	
	ウエット管理膜厚	250μm		100μm	
エアレス塗装条件	1次圧 0.5MPa (5kg/cm <sup>2</sup> ) 以上				
	2次圧 12MPa (120kg/cm <sup>2</sup> ) 以上				
	チップ No. 163-417~725				
塗装間隔	温 度	0℃	5℃	10℃	20℃
	最 小	24時間	18時間	14時間	10時間
	最 大	7日			

## 6. 施工上の注意

- 1) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合で混合し、十分に攪拌し均一な状態で熟成し、再度攪拌して塗装する。主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間内に使いきる。
- 2) 気温が20℃を超える環境では、可使時間が著しく短くなるので使用しないでください(パイネ#51-72Eへ変更)。
- 3) 希釈にはパイネ#5100溶剤を使用し、規定した希釈率の範囲内で希釈する。
- 4) 使用量、膜厚は標準的な目安を示すものであり、被塗物の形状、塗装方法などの条件により変動する。
- 5) エアレススプレー塗装の場合は塗料を60~80メッシュの金網でろ過する。
- 6) 薄塗りは塗膜欠陥の原因となります。必ず所定の膜厚が確保できるよう注意する。
- 7) 上塗り塗装までの塗装間隔が長くなると、密着不良を生じることがありますので、必ず規定範囲内で塗り重ねる。
- 8) 取扱い上の注意事項などの詳細説明は、別途「SDS」に記載していますので参照ください。

## 7. 適合する塗料

下塗：パイネ#6010、パイネ#6010T他  
上塗：パイネ#7020H、パイネ#1520他

## 8. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第1石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有	第2種有機溶剤含有
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—
エポキシ樹脂表示 硬化剤表示	エポキシ樹脂	イソシアネート化合物

## 9. 使用上の注意【警告】

- 1) 引火性の液体である。
- 2) 有機溶剤中毒の恐れがある。
- 3) 健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

中電工業株式会社 工事本部 (塗料担当)

〒734-0001 広島市南区出汐2丁目3番24号 Tel:082-255-2131 Fax:082-255-2251